

2024年9月20日

西日本鉄道株式会社

鉄道車両における輪軸の緊急点検結果について

九州運輸局からの指示を受け、当社の鉄道車両における輪軸組立作業について、緊急点検した結果をお知らせいたします。

1. 点検内容

天神大牟田線および貝塚線の車輪取り換え時の圧入作業において、「圧入力値」を記録し、管理しております。このデータについて、以下の2点を確認しました。

- ・圧入力値の記録が確認されない、記録簿の差し替えが行われている等の事案がないか
- ・圧入力値が社内規定等から逸脱している等の事案がないか

2. 対象輪軸

- ・天神大牟田線 1,112 本(278両) ・貝塚線 64 本(16両)

3. 点検結果

- ・天神大牟田線、貝塚線の全車両の輪軸において、記録簿の差し替えはございませんでした。
- ・一部輪軸において、車輪取替時の圧入力値が社内基準を逸脱していた輪軸が15本ございました。また、圧入力値の記録が漏れていた輪軸が8本ございました。

	上限超過	下限未満 ※2	記録漏れ ※3
天神大牟田線	9本 (8両) ※1	-	-
貝塚線	-	6本 (6両)	8本 (2両)

※1 上限超過の輪軸9本(8両)については、車輪取替時の圧入作業後、超音波探傷検査を行い、車軸の安全性を確認しております。

※2 下限未満の場合は、車軸の反対側から圧力をかけ、車軸から車輪が抜けないうかを検査する社内規定となっておりますが、上記6本(6両)については、2017年5月に社内基準値をJIS基準値へと見直した際、基準値の設定を誤っていた結果、下限未満と認識しておらず、反対からの圧力かけを実施していないものです。

※3 圧入力値の記録は、圧力計の数値を紙の帳簿へ転記しておりますが、記録漏れの輪軸8本(2両)については、この転記を失念しておりました。

4. 輪軸に対する当社の見解および今後の対応

当社では、全ての車両において、①車輪取り換え時の左右の車輪間隔の確認 ②3ヵ月周期の検査で左右の車輪間隔 ③4年周期の検査で車軸の傷の有無(超音波探傷検査)を検査しております。

上記3の輪軸(社内基準を逸脱した輪軸および圧入力値の記録が残っていない輪軸)においても、①②③の検査を実施しており、安全性に問題がないことを確認しております。

今回、改めて検査結果を確認したところ、全輪軸で異常は見られなかったため、全車両において安全性に問題はないと判断しており、九州運輸局にも報告しております。

しかしながら、下限未満時の一部検査未実施や、圧入力値の記録漏れ等があったことから、基準値ならびに社内規定を見直す際のプロセスの明確化や、圧入力値の記録のシステム化の検討を進めることで、さらなる安全確保に努めてまいります。

以上